

整理番号：  
(財団事務局にて記入)

## 大成学術財団 2025 年度 研究助成申請書

2024 年 ●月 ●日

一般財団法人 大成学術財団  
理事長 田中 茂義 殿

代表者(申請者)	大成 太郎	写 真 (2.4cm×3cm)
所属機関・職名 (学部・学科まで記入)	〇〇大学大学院 △△研究科 教授	
代表者(ローマ字)	TARO TAISEI	
所属機関・職名(英語)	Graduate school of △△, 〇〇 University・Professor	専門分野
最終学歴・学位	□□大学大学院△△研究科修了・工学博士	建築構造
生 年 月 日	(西暦) 19〇〇年 〇月 〇日	
所属機関 所在地	(〒 - ) 電話 E-mail	

- 注) 1. 大学、その他研究機関等に常勤し、主たる仕事が研究職として研究活動に従事している研究者、及び大学院に在籍する大学院生に限ります。  
2. 大学院生が代表者の場合は、共同研究者リスト(4ページ)に指導教官を記載してください。

研究課題名(課題名は内容を具体的に示すものとしてください。)			
(日本語) ※審査員に内容が良く伝わるように表現を工夫してください。			
(英語)			
研究分野の分類 【大分類】	A	研究分野の分類 【小分類】	2

- 注) 研究分野の分類については、本申請書8ページをご参照ください。  
※「その他」を選択した場合は、Dまたは10の後に括弧書きでその分類名を記してください。

事務連絡担当者	
氏名・所属	□□ □□・〇〇大学 △△学部 事務局
連絡先(〒 - )	電話
E-mail	

- 注) 助成金の振り込み先等の事務手続きについて財団からの連絡に対応できる方です。

1. 研究形態

研究の形態 (該当するものを○印でかこむ)	個人研究	<b>共同研究</b> ( 1 名)	国際共同研究 (    名)
		※( )内は申請者を除いた人数	

注) 共同研究者数を ( ) 内に記載のこと。

2. 研究期間

研究期間	2025年 4月    ~    2027年 3月
------	---------------------------

3. 申請金額

単位：円 (税込)

2025年度 助成申請金額 (200万円以内)	1	7	6	0	0	0	0
-------------------------	---	---	---	---	---	---	---

4. 当財団年度別助成希望額

単位：円 (税込)

2025年度 (上記3の金額をお書き下さい)	1	7	6	0	0	0	0
助成継続希望の有無 (○印) <b>有</b> 無	1	6	5	0	0	0	0
※助成継続を希望する場合は 2026年度の希望額をお書き下さい。							
合    計 (総額 400万円以内)	3	4	1	0	0	0	0

注) 助成は2年以内とします。2年目は中間報告書の提出によりあらためて内容を審査し、採否・金額を決定します。

5. 研究の目的 (その意義・価値・構想理由等)

※一般の方にも分かるレベルで表現してください。

※研究の意義(学術的背景や社会的意義)・価値・構想理由(着想にいたった経緯)、成果目標等を述べ、いかに応募される研究課題が重要なものであるかを主張してください。

## 6. 研究の要約（(1)現状の課題、(2)内容、(3)方法、(4)期待される成果）

(1)～(4)について1ページ以内に要約してください。(2)内容には独創的・先駆的研究か、新しいアプローチで行う研究か、応用研究か等についても触れてください。また、一般の方にも分かるレベルで表現してください。

※以下を参考に適宜ご記載ください。

### (1) 現状の課題

応募される研究課題が直面している現状の問題点・課題について述べてください。

### (2) 内容

研究内容を簡潔に記述して下さい。

(1)で述べた現状の課題を解決するものであることを主張するとよいと思われます。

### (3) 方法

研究の目的をどのように達成するか、その手法を具体的に記述してください。

実現性の高さ、手法の堅実さについても主張いただくとよいと思われます。

また、共同研究者が参画する計画においては、どのように分担していくかについても記載ください。

### (4) 期待される成果

既往の研究を発展させる場合には、どのような点で新規性・発展性があるかを記載してください。

特に複数年度の計画として申請される場合は、申請初年度で目標とする成果、次年度で目標とする成果を区分してご記入いただけるようお願いいたします。(申請書年度末にご提出いただく中間報告書にて進捗状況を判断させていただきます。)

※必ず1ページに収めてください。

複数ページで記述された場合は、申し訳ありませんが、不備書類として処理いたします。



9. 当財団以外の機関の助成

9-1 代表者又は共同研究者が本研究以外について他の機関に助成を申請した場合（予定を含む）は、その旨を記載してください。

（他の機関に助成を申請し、すでに助成が決定している場合は9-2に記載してください。）

申請先の機関名	研究費等の名称	代表者氏名	研究課題	申請金額 (万円)	助成期間 年 月～ 年 月
日本学術振興会	科学研究費補助金	大成太郎	〇〇に関する研究	500	2025年4月～ 2027年3月

9-2 代表者又は共同研究者が本研究以外について他の機関から既に助成を受けている場合は、その旨を記載してください。（助成期間が既に終了しているものは記載の必要はありません。）

申請先の機関名	研究費等の名称	代表者氏名	研究課題	助成金額 (万円)	助成期間 年 月～ 年 月
〇〇財団	研究助成金	大成太郎	〇〇における実験的研究	100	2024年4月～ 2027年3月

10. 2025 年度分申請助成金の使途内訳（使途別に具体的に記入）

単位は必ず記入してください。

単位：円（税込）

使途区分（内訳）	数量(単位)	単 価	所要額
設備備品費（品名）			
〇〇計測用端末	2 台	50,000	100,000
			100,000
消耗品費（品名）			
〇〇実験の試験体	3 体	20,000	60,000
〇〇解析ソフト	1 個	100,000	100,000
事務用品	1 式		30,000
小 計			190,000
旅費（目的・行先）			
〇〇の現地調査（〇〇県〇〇市）2 名	2 回	60,000	120,000
〇〇学会発表（〇〇県〇〇市）1 名	1 回	50,000	50,000
小 計			170,000
謝金（事項・目的・相手先等）			
実験補助 5 人×10 日	50 人日	6,000	300,000
データ解析 2 人×30 時間	60 人時	5,000	300,000
指導料（〇〇大学 〇〇教授）	1 式		200,000
小 計			800,000
印刷製本費（具体的な内容）			
論文印刷費・掲載料	1 式		100,000
小 計			100,000
所属機関の間接経費（助成額の 10%以内）			
	1 式		160,000
その他（具体的な内容）			
外部委託費（〇〇の調査）	1 式		200,000
車両レンタル費（〇〇の調査）	2 回	20,000	40,000
小 計			240,000
合 計（助成申請金額）			1,760,000

記入欄を追加したい場合は、他項目の未使用欄を削除し、その分追加してください。  
例) 設備備品費の 2 行を削除し、消耗品費に 2 行追加する。

必ず小計を記入してください。

注) 1. 助成対象研究に必要な費用のみ申請してください。未使用の助成金は返金していただきます。  
 2. 助成期間終了後に領収証等の証憑（原本、必要に応じて返還）を添えて使途実施報告をしていただきます。  
 3. 設備備品費とは助成対象研究に必要となる実験装置等のことをいい、助成対象研究以外に転用可能なパソコン費用等は申請できません。また、設備備品費は申請助成金額の 30%以内としてください。  
 4. 旅費は実費（普通車指定席（鉄道）、エコノミークラス（航空機）利用）を申請してください。  
 5. 人件費は申請できません。ただし、助成対象研究目的に限定した臨時雇用者費用は可とします。  
 6. 飲食代は申請できません。ただし、会議等に供する茶菓代程度は可とします。

